

さだの国から '89～'99

-- さだましメンバーングリスト10年の軌跡 --

法林 浩之

ソニー/さだましメンバーングリスト
hourin@massan.gr.jp

Powered by ... MagicPoint

何の話をするねん

さだましメンバーングリストの10年間について話す

□技術的側面

- メンバーングリスト運営環境の変遷
- 統計学的側面
 - 10年間の参加者およびメールの統計情報
- コミュニケーション的側面
 - メンバーングリスト(インターネット)を使ったコミュニケーション作り

さだましメンバーングリストの紹介

□さだましさん@歌手の私設ファンクラブ的ML

- 本人、事務所、公式ファンクラブとは無関係
- 「まさしんぐリスト」とも呼んでいる
 - 公式ファンクラブ「まさしんぐWORLD」からとった
- 1989年11月設立 → 10年経過

□現在、約650人が参加

□歴代管理サイトと管理人

- 1989/11～1992/03 osaka-u.ac.jp 法林
- 1992/03～1994/01 uec.ac.jp 鈴木さん
- 1994/01～1997/07 sony.co.jp 岡崎さん
- 1997/07～現在 rekihaku.ac.jp 鈴木さん

設立の経緯

□1989年11月4日

- fj.rec.musicに「さだましファンいませんか？」記事投稿される
- 以後2週間
 - 大量のフォロワー記事が投稿される(約80本)
 - fjのSubjectランキングでも上位に入る
 - メンバーングリストを作った方がいいのでは？ → 法林が作成

□1989年11月16日

- メンバーングリスト参加者をfj.rec.musicで募集

□1989年11月20日

- メンバーングリストに最初のメールが流れる
- 参加者10人

私が管理人になったわけ

- 当時の私の立場
 - 大阪大学基礎工学部情報工学科の(2回目)4年生
 - 昨年度、卒業研究を終えていた
- つまり、暇だった(^_^;)
- メーリングリストの設定方法を知っている人が近くにいた
 - 齊藤さん、木津さんなど
 - 方法を教えてもらい自分で設定

設立当時の配送環境

- 時代背景
 - .junetから.jpに移って間もない頃
 - サーバ機
 - ouics3.osaka-u.ac.jp
 - Sun3/75M-4
 - ▷ 日本に最初に輸入されたSun3のうちの1台らしい
 - メール配送
 - sendmail(4.0/6.4J.6)
 - 一部サイトのみMXで配送、普通はUUCP接続
 - MLドキュメント
 - /etc/aliases :-)
 - ▷ massan: /include/usr/local/massan/members (メンバーファイル)
 - ▷ massan-request: hourin (管理者用アドレス)

配送を少し工夫する

- メンバーファイル
 - 参加者のドメインを見て、MXでどのサイトに配送されるか調べる
 - 同じサイトに送られる参加者が連続するように並べる
- 記事番号を付ける
 - 1991年4月から導入
 - メールの欠落を検出したかった
 - ハツダ例
 - ▷ X-Mail-Name: massan
 - ▷ X-Mail-Count: 20322
 - Subjectの先頭に付加する形にはしていない

管理サイトを電通大に移転

- 管理人(自分)の就職に伴い交代
- 後任を募集し、引き継ぎ
- 2代目管理人: 鈴木さん
- 1992年3月から1994年1月まで
- 参加者数: 約60人 → 120人

電通大時代の配送環境

- 時代背景
 - 商用ISPの黎明期
 - パンゴン通信(Niftyなど)もインターネットに参加
- サーバ機
 - SPARC classic
- メール配送
 - sendmail(4.1/6.4J.6)
 - MXによる配送が定着
- MLドライブ
 - いくつかの機能が追加される

MLドライブへの機能追加

- 1993年ぐらだから、独自の実装が追加され始める
- 記事取り寄せ
 - 記事番号を書いたメールを送ると、自動応答でその番号の記事が返ってくる
 - 欠落した記事を読める
- 蓄積配送
 - 1日1~2回、記事を1本のメールに連結して配送
 - 本来は、メールが頻繁に来て煩わしい人のために作った
 - Niftyからの参加者にも役立った
 - ▷ メールボックスに24通しか入らなかつた
 - 配送時刻は複数のパターンを用意し、参加者が選択
- SubjectへのML名と記事番号の付加
 - デフォルトでは付かないが、希望者は選択可能

ソニーへの移転

- 管理人(鈴木さん)の就職に伴い交代
- 後任を募集し、引き継ぎ
 - 自分は会社のネットワーク管理で多忙だったので応募しなかつた
- 3代目管理人: 岡崎さん
- 1994年1月から1997年7月まで
- 参加者数: 120人 → 400人

ソニー時代の配送環境

- 時代背景
 - ISPのメールアドレスでの参加者が増える
- サーバ機
 - Sony NEWS 5000
 - 社内ネットワークにあった
- メール配送
 - sendmail(4.2/3.3W)
 - ▷ この頃すでに8.xはあつたんだが...
 - 基本的にMXで配送、ただしFirewallまでは同じ経路
- MLドライブ
 - 独自プログラムに機能を付加しつつ使用
 - ▷ 発信者制限(ML参加者のみ投稿可能)
 - ▷ 同時送信数の抑制

MLの規模拡大に伴う問題

- 参加者も増加、投稿数も増加
- ユーザにとっては…
 - メールが増えて読みきれない
- ML管理者にとっては…
 - 加入脱退などの作業量の増加
 - ここは自動化していない(現在も手動)
- 会社のネットワークにとっては…
 - メール流通量におけるMLの比率増大
 - 業務利用と個人利用の区別がうるさくなる
- さだまさしMLが社内メール流通量の1位に(^ _ ^)
 - 自分はMLの参加者かつ会社のネットワーク管理者

同時送信数の抑制

- MLサーバから一度に大量に送信すると、中継メーラーサーバで受け切れない
- 同時送信数を抑える機能を追加
- 1994年から導入
- 配送は安定したが、その代わり遅くなった
 - 導入した頃は、遅いのは問題にならなかった
- 現在もこの機能はあるが、見直す時期か
 - メーラーサーバの性能が上がった
 - ▷抑制しなくても安定して配送できる
 - ユーザの意識変化
 - ▷以前: メールが届くには時間がかかる
 - ▷現在: メールは出せばすぐ届く

歴史民俗博物館への移転

- メーリングリストが博物館入りしりしたわけではない:-)
- ソニーの社内事情による移転
- 後任を募集し、引き継ぎ
 - 自分は応募しても意味がない:-)
- 4代目管理人: 鈴木さん(2代目と同一人物)
- 1997年7月から現在に至る
- 参加者数: 400人 → 650人

現在の配送環境

- 時代背景
 - さだ企業のWWWを見て参加する人が多らしい
 - ▷ <http://www.sada.co.jp/>
 - インターネット初心者参加が顕著に増えた
 - ▷ さだまさしファンとしてはベテランだが...
- サーバ機
 - SPARCstation 5 (SunOS 4.1.4-JLE1.1.4)
- メール配送
 - sendmail(8.8.8/3.6W)
- MLドライバ
 - いくつかの機能を追加
 - ▷ 初心者への啓蒙的機能が多い

「よくない」とされるメールへの対応

- 半角カナ、機種依存文字、HTMLメールなど
 - 主にMicrosoft Outlook対策
- 配送プログラムで強制変換して送信
 - 半角カナ → 全角カナ
 - 機種依存文字 → =
- 発信者にも警告メールが送られる
 - MIMEのmultipartメールは全部警告してしまう
 - 最近ではmultipartメールしか出せない端末があるらしい

MIME化された日本語Subject

- 現在の方針: 使ってもよいが、ローマ字を併記する
 - 以前はMIMEの使えない人も多かった
- 最近、日本語のみのSubjectで投稿する人が多い
 - 利用年数の浅い人に多い?
 - ローマ字や英語を併記するのは面倒
- MIMEに関する初心者とベテランの意識の差
 - 初心者
 - ▷ MIMEに関する知識はない
 - ▷ ほぼ例外なく(無意識のうちに)MIME環境が整っていて使える
 - ベテラン
 - ▷ MIMEに関する知識はある(生JISとの違いもわかる)
 - ▷ しかしMIME環境が整っていない場合がある

10周年記念事業(1): ドメインの取得

- ドメイン名: massan.gr.jp
団体名: さだまさしメーリングリスト
- 書類さえ出せば通る
 - 申込フォームをJPNICから入手し、記入
 - 代表者と副代表者を決め、印鑑証明を用意
 - ▷ gr.jpの場合は必要
 - ▷ 自分が言い出しっぱなしなので代表者に

10周年記念事業(2): 独自サーバ確保

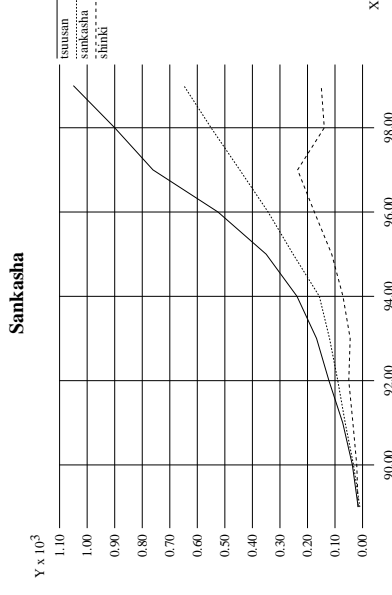
- ずっとどこかの組織に間借りというわけにはいかない
 - ISPのご厚意でサーバを提供してもらえような団体でもない
 - ISPのメーリングリストサービスでは不十分
 - 現在の配送プログラムの機能は使いたい
 - メーリングリスト以外のツールも自由に使いたい
- サーバ1台丸ごと借りるサービスを利用
- さくらインターネットを利用
 - <http://www.sakura.ad.jp/>
 - サーバは大阪にある
 - 自分で個人用に借りて、それをMLに提供

統計情報の紹介

- 保存されている情報
 - 10年間のメール全部
 - 参加者リスト(参加/脱退の日付き)
- これらを集計して算出

参加者数

参加者数: 649人
 通算参加者数: 1050人(脱退した人を含めた累計)
 定着率65%: 高いか低いかよくわからない



ドメイン属性別参加者数

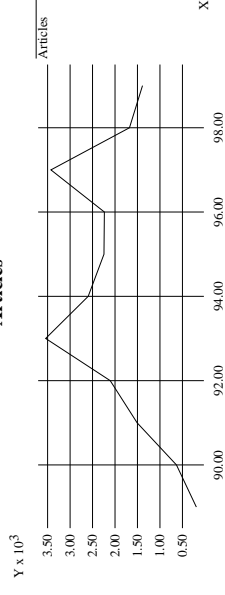
参加者リストから集計(1998年は資料なし)

	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
ac.jp	7	16	23	28	49	58	93	97	91		72
co.jp	3	13	35	53	58	66	81	95	101		100
ntt.jp		3	4	5	6	6	8	6	6		---
go.jp		1	1	4	4	4	7	8	11		12
or.jp				2	19	56	126	188			120
ad.jp					1	2	1	1	1		1
地域.jp						2	3	6	6		4
ne.jp									25		314
gr.jp											1
com					2	3	5	13			16
net						1	5				6
org						1	1	1			1
edu											1
外国					1	1		3			2
参加	10	33	63	90	120	157	252	343	446	???	649

(外国の内訳: 1993,1994年はuk, 1997年はau,id,ie, 1999年はde,nu)

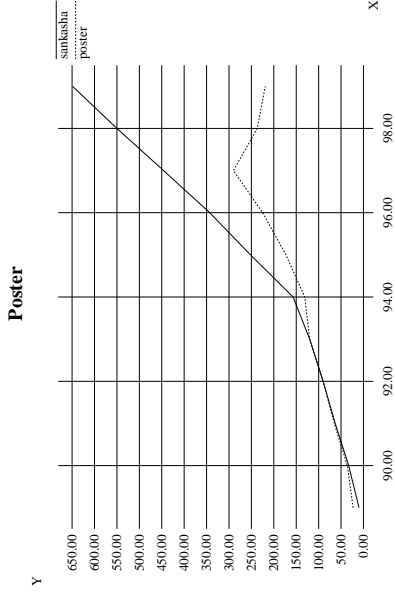
投稿数

- 総数: 21554通
 - ML設立以前のfj.rec.musicの記事も含む
 - 最多投稿者は1346通
- 投稿数の多いSubject
 - 4位までは「Subjectなし」と「はじめまして」で独占:-)
 - 1つのスレッドとしては最大で40通ぐらい
 - 投稿が多くなる話題の傾向は特にならない



投稿者数

- 総数: 約670人 (通算登録者の2/3に相当)
- 1991年までは、投稿者数が参加者数より多い
 - ▶MLメンバーでなくとも投稿できたから?



メール環境について

- 日本語Subjectに関するアンケートを実施
 - 回答者約80人
 - MIME化日本語Subjectを全く読めない人: ほぼ0人
 - できれば避けて欲しいと思っっている人: 10%
- 同時に使用メールも調査
 - Outlookが25%で1位
 - 他にはNetscape, AL-mail, Beckyl, Eudora, Winbiff, MH-e, Mewなど
 - 20種類以上のメールが登場

10年やってきて思ったこと

- インターネットを使ったコミュニティ作りの一例
 - よいコミュニティを作ることができたと思う
- 話題が途切れずに10年続いたことがうれしい
 - MLの設定だけを維持するなら難しくないが...
- さだまさしファンの特性に意外に合っていたらしい
 - ファン同士はよくコミュニティを作る
 - ▶全国各地に存在する「さだまさし研究会」
 - 一般人にはファンであることを告白しない人が多い
 - ▶好き嫌いがはっきり分かれるから?
 - ▶オフラインの魔団にファンがいけない場合が多い
 - ▶人知れず交流できるMLの良さが生かされた

話題が途切れずに10年続いた理由

- MLの存在を常に公開していた
 - 新しい人が参加し、活性化される
- メンバーに投稿する機会を与える努力
 - オフラインミーティングのリレーレポート
 - ▶次の投稿者を指名しながらレポートを進める
 - ▶結果的に参加者は全員投稿することになる
 - 誕生日を登録しておくとお祝いのメールが流れる
- 良識ある参加者に恵まれた
 - 内容のない投稿を多発しない
 - 流量が多いと苦情が出て控え目になる → 適切な流量で推移
- さださんの活動の継続
 - ファンクラブ的メンバーグリストでは特に重要

メーリングリストの役割の変化

- 10年前
 - コミュニティ作りの道具はメーリングリストしかなかった
 - MLドライブにいろいろな機能が実装された
 - ▶ 参加/脱退の自動化
 - ▶ 過去記事の取り寄せ
- 現在
 - メーリングリストは、コミュニティ作りの道具の1つ
 - 他の道具も組み合わせてよりよい交流を図りたい
 - そのために独自サーバを用意した

独自サーバの利用状況

- www.massan.gr.jp
 - MLの紹介と参加方法は外部に公開
 - メンバー向けページ
 - ▶ 参加者リスト
 - ▶ オフラインミーティングの写真
 - 一部のサブML
 - アドレスはxxxx@massan.gr.jp
 - メール配送にsmtpfeedを導入
 - さだまさしMLも近日移行予定
 - メールの集計
 - プログラム開発も共同でできる
 - オフラインミーティングの日程調整
 - Meeting2000を使用

これから独自サーバで実施したいこと

- さだまさしMLの移行と共同管理
 - 規模が大きくなると1人で管理するのは大変
- MLのメールの全文検索
 - 技術的には難しくない
 - 個人情報掲載の載ったメールは検索対象から外したい
 - ▶ 外すべきメールを探すのが大変
- コンサート報告用サブMLの設置
 - さだまさしコンサートは年中開催
 - ネタがバレルのでコンサートの報告をMLに書けない
- コンサートの中継
 - 実況用MLとIRCではすでに実現
 - ▶ 実況用MLはかなり盛り上がった
 - 映像/音声での中継は、権利の面で無理
 - ▶ 主催者と結託すれば話は別だが...

独自のMLドライブの改良

- 他のMLドライブとは視点が違う
 - 他のMLドライブ
 - ▶ 大量のメールを多数の参加者に速く送る
 - ▶ 管理の手間の軽減
 - さだまさしMLのドライブ
 - ▶ 参加者に選択の余地を与える
 - ▶ 初心者ユーザへの助言機能
- ユーザにやさしいMLドライブを考えたい
 - 配送環境は速くなった
 - ユーザの購読能力は(平均的には)向上していない
 - ▶ 初心者からベテランまで格差が溝大

今後の展開

- 主婦と高齢者の動きに注目
 - 主たるファン層がようやくMLに参加し始めた
 - メーリングリストへの関わり方は若い人と同じか？
- ファン同士の交流の場としての発展
 - 単なるメールの配送システムではなく、それを使う人々の交流システムとして考えたい
 - なんでもメールでやる必要はない
 - ↳他のツールも上手に使うてよりよい交流を
 - 参加者の能力や関わり方に応じて楽しめる仕組みを考えたい

まとめ

- さまざまメーリングリストの10年間について話した
- メーリングリストの歴史(主に配送環境)
 - メールの統計情報
 - 10年間やってきて思うこと

本日の資料

<http://www.massan.gr.jp/~hourin/massan20000209/>

さまざまメーリングリストの紹介

<http://www.massan.gr.jp/>